

新都市人口ビジョン(案)及び第2期新都市まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)パブリックコメント実施結果

第2期新都市まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)に対するご意見

提出者 No	意見 No	意見	意見に対する考え方
1	1	まち・ひと・しごと創生総合戦略でA評価が多いのは如何でしょうか？ここはPDCAを回す上でも、厳しいレビューが必要だと考えます。もし振り返り、反省を確りしないまま次に進むのでは、対策が疎かになりがちです。	第2章1節(10ページから13ページ)において、個別目標の達成状況を記載しているところです。達成状況については、第1期新都市まち・ひと・しごと創生総合戦略で掲げた数値目標及び重要業績評価指標の基準値及び目標値に対して、目標値を達成しているものを「A」、基準値を上回っているものの目標値を達成していないものを「B」、基準値を下回っているものを「C」、評価時点において数値を把握できないものを「-」として評価しています。 成果重視型の行政運営を推進するため、引き続き事業成果の適切な評価に努め、マネジメントサイクルに基づく行政経営を進めるとともに、数値のみではない評価手法などについても検討してまいります。
1	2	日本国として、人口減少は進んでいます。東京圏集中の流れを変えるのは、大変困難な事と見込まれます。国の戦略を模したような対策では、とても人口減少は止められないと思います。当市として、独自性の高く、実現性も高い、抽象的でなく、情熱に富んだ施策が必要です。	人口減少への対応は重要な課題として受け止めています。 日本全体が人口減少していく中で、定住人口の増加はもとより維持さえも困難であることを受け止め、その速度を緩やかにすることや人口減少に対応したまちづくりをしていく必要があります。 同時に、大学等への進学で市外に流出した若者が再び新都市に戻ってくるができるよう魅力的な働く場の創出や起業支援、働きやすい環境づくりを進めるとともに、子どもを産み育てやすい環境や安心して子育てできる体制づくりなど社会全体での子ども子育て支援、若者の夢や希望を応援できる条件づくりや生活の不便さの解消などにより、定住人口の減少の速度を緩和させ、ゆっくりと確実にバランスの取れた年齢構成への転換を進めてまいります。
1	3	人口減少が進むとどうなるか、その現実感を全員が認識しないと、本気になりません。正に市民の「一丁目一番地」の課題として、認識して頂く必要があります。それにはリスクシナリオが必要で、具体的に見せる事が必要です。飯田線廃線、バス路線廃止、大型スーパー撤退、小中高校廃校、工場・商店街・温泉街廃業、市民病院閉鎖・移転等が、思いつきます(検証は必要ですが)。事態が起きてからでは遅く、どれだけ後悔しても、元には戻りません。	人口減少への対応は重要な課題として受け止めています。 日本全体が人口減少していく中で、定住人口の増加はもとより維持さえも困難であることを受け止め、その速度を緩やかにすることや人口減少に対応したまちづくりをしていく必要があります。 人口の「数」のみではなく「人のつながり」を捉えたまちづくりが必要であると考えています。 引き続き、暮らしにくさの解消や魅力的なまちづくりなど、しんしろ創生に向けた取り組みを推進してまいります。
1	4	多政策且つ総花的に取り組むのは、結局二兎負う者で終わりませんか？重点施策に絞らねばなりません。誰が資金を負担するのか、皆様に同意が得られる政策でなければなりません。	限られた資源や人材の中で様々なニーズに対応するため、引き続き事業成果の適切な評価に努め、マネジメントサイクルに基づく行政経営を進めてまいります。 また、社会状況の変化などに迅速かつ的確に対応するため、経営資源の集中など行政経営の効率化を進めてまいります。
1	5	設備・施設を造るのは、コストがかかりますが、維持にもコストがかかります。まして、人を張付けるとなれば猶更です。多額の市民税を負担している市民に対し、無駄遣いは怒りを助長させるだけです。それこそ人口減となれば、その財源も乏しくなります。空家・廃校活用、既存施設再活用等、あるものは最大限有効活用し、ランニングコストも含め、負担は極小化すべきです。	公共施設等の維持管理にかかる財政負担の増大は、本市の財政上のリスク要因になりますので、引き続き適切な管理に努めるとともに、利活用について検討してまいります。
1	6	市民からアイデアを募るのも一策ですが、リスクシナリオが面前にない中では「他人事」で終わりがかねません。矢張り行政が中心になり、有効事例を集め研究すべきだと思います。TV、新聞、ネットと、幸い一市民でも、その情報は目・耳にします。広く世界の事例も、学ぶべきと考えます。	しんしろ創生の推進に取り組む上での参考にさせていただきます。

新城市人口ビジョン(案)及び第2期新城市まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)パブリックコメント実施結果

第2期新城市まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)に対するご意見

提出者 No	意見 No	意見	意見に対する考え方
1	7	単なる模倣では、対外的な魅力に欠けます。当市独自性は絶対です。折角ニューキャッスル連携活動をしているのですから、移住策も織り込んではどうでしょう？外国人招聘は、世界的にも競争が厳しくなっています。優秀な人材確保となれば、更に拍車がかかっています。難しい課題とは承知していますが、英語(葡語?)を行政の公用語にするとか、技能実習生受入団体を市自身が請け負う等、対外的に積極姿勢を示すことは必要と考えます。	しんしろ創生の推進に取り組む上での参考にさせていただきます。
1	8	リニアが名古屋にきますが、そのアクセスは改善できないでしょうか？飯田線伊那路は豊橋まで22分、接続次第では東京迄約2時間で着きます。北海道では、「東京から2時間」をアピールし、成功している街もあると聞きます。今から、打って出るべきと思います。	リニア中央新幹線の開業は、経済・産業構造や市民の暮らしなどにおいて様々な効果が期待されます。新城市においても、関係自治体や経済団体と連携して、三河地域の新幹線駅利用促進に向けた検討などの取り組みを進めているところです。引き続き、暮らしにくさの解消や魅力的なまちづくりなど、しんしろ創生に向けた取り組みを推進してまいります。
1	9	IT進展及び働き方改革を受け、テレワーク推進も検討すべきです。五輪後は、堰を切ったように進むとも予想されています。IT環境整備と共に、同様に広くアピールすべきです。	しんしろ創生の推進に取り組む上での参考にさせていただきます。
1	10	危機感の共有が、最も大事です。それがなければ、上辺を取り繕うだけに終わりかねません。机上の議論でなく、現場に足を運ぶ、啓蒙活動が必要です。新城市永続…この情熱が醸成出来れば、思いは必ず実現出来ると思います。	しんしろ創生の推進に取り組む上での参考にさせていただきます。
2	11	p6 「また、基本目標の達成に向けて講ずべき施策に関する基本的方向、具体的な施策を盛り込み、各施策には、KPI(重要業績評価指標)を定めます。」 数名の利用者しかいない赤字前提の高速バスに3800万円もの税金を費やして、何がKPIなのか。若者議会に何千万円も投じながらまともに事業報告をしない、どこがKPIなのか。	目標を達成するための取り組みの進捗状況を定量的に測定するための指標として「KPI」を設定しています。具体的な取り組みに対するKPIについては、第3章第3節に記載していますのでご承知ください。限られた資源や人材の中で様々なニーズに対応するため、引き続き事業成果の適切な評価に努め、マネジメントサイクルに基づく行政経営を進めてまいります。また、社会状況の変化などに迅速かつ的確に対応するため、経営資源の集中など行政経営の効率化を進めてまいります。
2	12	p10 「個別目標の達成状況」 誰が何に基づいて評価したのか説明してもらいたい。	第2章1節(10ページから13ページ)で、個別目標の達成状況一覧で達成状況を記載しているところです。達成状況については、第1期新城市まち・ひと・しごと創生総合戦略で掲げた数値目標及び重要業績評価指標の基準値及び目標値に対して、目標値を達成しているものを「A」、基準値を上回っているものの目標値を達成していないものを「B」、基準値を下回っているものを「C」、評価時点において数値を把握できないものを「D」として評価しています。成果重視型の行政運営を推進するため、引き続き事業成果の適切な評価に努めるとともに、事業の進め方や目標設定の見直し、数値のみではない評価手法などについても検討してまいります。
2	13	p10 「基本目標に対する数値目標10項目のうち5項目が達成となりました。施策に対する重要業績評価指標(KPI)116項目のうち、53項目が達成、53項目が基準値から改善・現状維持となりました。」 市の現状を鑑みると、採点が甘すぎるのではないか。たとえば、「地域医療等の充実」の満足度Bについて、診療科目が減って市民病院が機能していないのに、なぜBなのか。	ご指摘の『「地域医療等の充実」の満足度』については、新城市民を対象としたアンケート調査により評価しています。達成状況については、第1期新城市まち・ひと・しごと創生総合戦略で掲げた重要業績評価指標の基準値及び目標値に対して、基準値を上回っているものの目標値を達成していないものを「B」として評価しています。成果重視型の行政運営を推進するため、引き続き事業成果の適切な評価に努めるとともに、事業の進め方や目標設定の見直し、数値のみではない評価手法などについても検討してまいります。

新都市人口ビジョン(案)及び第2期新都市まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)パブリックコメント実施結果

第2期新都市まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)に対するご意見

提出者 No	意見 No	意見	意見に対する考え方
2	14	p10 【基本目標の達成状況一覧】 合成特殊出生率や定住人口について、なぜ「現状値が把握できない」のか。人口統計の数字があるではないか。出生率・人口という重要なデータをなぜ空欄にしておくのか。	第2章1節(10ページから13ページ)で、個別目標の達成状況一覧で達成状況を記載しているところで す。 ご意見の指標については、国勢調査及び人口動態統計特殊報告の公表値により評価していますが、 評価時点において新たな統計資料が公開されていないため現状値を把握できないものとしています。 なお、国勢調査は訪問調査により新都市に住んでいる方の人数を把握するものです。一方、市の人口 統計は住民基本台帳により新都市の住民票を持っている方の人数を把握するものであるため、情報 が異なります。 成果重視型の行政運営を推進するため、引き続き事業成果の適切な評価に努めるとともに、事業の 進め方や目標設定の見直し、数値のみではない評価手法などについても検討してまいります。
2	15	p16 「現在の住民基本台帳人口は46,761 人となっています。これまで実施されてきた施策 は、一定の成果をあげていますが」 具体的にどんな成果があったのか解説してもらいたい。	第2章1節(10ページから13ページ)で、個別目標の達成状況一覧で達成状況を記載しているところ です。第1期新都市まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づき様々な取り組みを実施しています。こちらに 示すとおり、多くの取り組みにおいてその目標を達成又は改善しており、総合的にみて一定の成果が あると考えております。
2	16	p26 「5Gを活用した遠隔医療等の実証実験」 p27 「三河メディカルバレー・プロジェクト」 こんなことより、市民病院で基本的な診察・治療・入院が十分にできることのほうが先で はないか。そもそも、これらの事業を新城でやるメリットがあるのか。	地域医療の維持については、重要な課題と認識しております。 引き続き、地域医療体制のあり方の検討、維持・確保に向けた取り組みを進めてまいります。 また、IT技術を活用した遠隔診療や遠隔手術等の遠隔医療、奥三河メディカルバレープロジェクトは、 人生百年時代を見据え、高齢化が著しい地域として、「健康寿命の延伸と生涯現役社会の実現」を図 るため、未病対策をはじめとする新たな健康福祉サービスを創造するとともに、地域医療体制の充実 に向けた先進的な取り組みの一つとして、新都市における地域医療の課題解決に資するものと考えて おります。
2	17	p28 「新城エネルギー公社」「事業収益を原資とし」 いくら収益を見込んでいるのか。エネルギー公社の運営にはいくらかかるのか。	新城エネルギー公社の取り組みについては、今後事業性や事業費等を精査し検討を進めてまいり ます。
2	18	p29 「人・農地プランの実質化した集落数」 これはどういう意味か。ゼロから15になるという根拠は何か。	「人・農地プラン」は、それぞれの集落や地域における話し合いに基づき、農業・農地のあり方など、地 域が抱える人と農地の課題を明確化し、その解決を図るための将来の方針として策定するものです。 「実質化」とは、この人・農地プランを、徹底した話し合いや現状認識に基づき、「将来にわたって地域 の農地を誰が担っていくのか」「誰に農地を集積・集約化していくのか」など農業・農地をどうしていか を明確化し、実効性を高めていくことを言います。 これまで地域の農業を支えてこられた方々の様々な取り組みを通じて、地域の農業・農地が守られ発 展してきました。しかし、これらの方々が高齢化する中、これからの農業・農地のあり方を検討し、引き 継いでいくことが必要です。 引き続き、地域の農業の継続性を高めるとともに、地域の伝統や文化などと一緒に引き継いでいくた め、取り組みを進めてまいります。今後5年間の目標として15集落での実質化を目指してまいります。

新城市人口ビジョン(案)及び第2期新城市まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)パブリックコメント実施結果

第2期新城市まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)に対するご意見

提出者 No	意見 No	意見	意見に対する考え方
2	19	<p>p32 「藤が丘へ設置したアンテナショップ「山PORT しんしろ」及び名古屋圏を中心にPR を 行い」</p> <p>これまでの費用対効果はどうなっているのか。どの自治体もアンテナショップを出している 昨今、差別化できなければ宣伝効果は期待できない。東三河広域連合も東京にアン テナショップを出しているが、新城からは鳳来紅茶だけである。いったい税金をいくら費 やしているのか。</p>	しんしろ創生の推進に取り組む上での参考にさせていただきます。
2	20	<p>p35 「道の駅の入込客数(年間) 1450千人 地域産業の振興を図ります」</p> <p>平成30年度もつくるの売上高は、3億6,136万4千円だったが、営業利益はたったの1 76万2千円。売上高は毎年同じくらいだが、営業利益は毎年130万円ずつ減っている。 3億の売上げのうち、ほとんどが経費で消えているのではないか。赤字転落したら、これ も税金で補てんするのか。無料のトイレと足湯を使い、コンビニで弁当を買い、また高速 に戻るのでは市内観光にもつながらないし、地域産業の振興にもならない。それを改善 しないで立ち寄る人数だけ増やしても意味がないではないか。</p>	しんしろ創生の推進に取り組む上での参考にさせていただきます。
2	21	<p>p37 「空き家バンクにおける契約件数」</p> <p>新城市空き家バンクポータルサイトには、戸建て7件と土地6件しか載っていない。市内 には空き家や空き地が増えているはずだが、なぜもっとサイトを活用しないのか。</p>	しんしろ創生の推進に取り組む上での参考にさせていただきます。
2	22	<p>p40 「医師確保事業」</p> <p>本気で医師を確保する気があるなら、市長以下三役と市議会議員の期末手当を2年連 続で上げた分を医師の給与に回すべきである。高給を提示せずに、どうやって今の新 城市へ来てもらうのか。財政が厳しいと言いつつ、市のトップが自らの手当アップを平然 と受け取るようでは、今後も市民病院に希望は持てない。</p>	しんしろ創生の推進に取り組む上での参考にさせていただきます。
2	23	<p>p40 「鳳来総合支所周辺整備事業」</p> <p>過疎化が急速に進む鳳来で市庁舎支所が必要なのか。負の遺産を増やすだけではない か。また、広大な鳳来地区で、「長篠地域が鳳来地区の地域中心核として機能が果た せる」とする根拠は何か。新城が鳳来・作手と合併した際に、新城で行政が一本化でき るという話だったのではないか。結局、3カ所に市庁舎を作っているのではないか。</p>	地域コミュニティの維持や活性化を図るため、地域住民の日常生活圏や均衡ある地域づくりに配慮し ながら、公共施設等の適正配置や都市機能のコンパクト化を視野に入れ、地域の中心核として機能が 果たせるよう利便性の向上を進めてまいります。

新城市人口ビジョン(案)及び第2期新城市まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)パブリックコメント実施結果

第2期新城市まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)に対するご意見

提出者 No	意見 No	意見	意見に対する考え方
2	24	p46 「女性の審議会への登用率」 平成30年度25.1%とあるが、4人に1人が女性なのか。審議会委員の総数は何人か。審議会には同じような名前(特に女性)がよく並んでいるが、何人がどれくらいの割合で兼任してるのか。審議会や市民自治会議など、会長はいつも男という点も改善すべきではないか。	しんしろ創生の推進に取り組む上での参考にさせていただきます。
2	25	p46 「男女共同参画に関する施策を総合的かつ体系的に整備・推進し、男女共同参画社会の推進を図ります。」 新城市の女性管理職の少なさは異常である。女性だから昇進させるのではなく、女性の能力を引き出し、活用する気も指導力もシステムもないせいだと思われる。たとえば、豊橋市は災害時に職員が出勤する際、子連れを想定した体制づくりの検討を始めている。新城市にはそういう配慮と対策があるのか。	しんしろ創生の推進に取り組む上での参考にさせていただきます。
2	26	p48 がん検診受診率、歯周疾患検診受診率が低すぎる。目標もなぜこんなに低くてよとするのか。これまで受診率を改善するための対策はあったのか。豊川市はワンコインがん検診での集団検診の無料化を進めている。新城市は、具体的に何をしてきたのか説明してもらいたい。	新城市においても、集団及び医療機関個別がん検診の自己負担金は全てワンコイン受診や他の検診との同時実施、歯周病疾患検診の無償化や個別案内などの取り組みを実施しております。引き続き、健康管理に対する啓発を推進し、受診率の向上に努めてまいります。
2	27	p50 「高齢者を年齢や心身の状況等によって分け隔てることなく、住民主体の通い場を充実させ、人と人のつながりを通じて、参加者や通いの場が継続的に拡大していく地域づくりを推進します。」 抽象的すぎる。なにをどうやるつもりなのかまったく見えない。	通いの場とは、高齢者の方が身近な地域で体操などの軽運動や趣味の活動などに参加することのできる場を提供し、生きがいづくりや仲間づくりを通じて介護予防につながる取り組みを行う場所をいいます。 「高齢者が身近な地域で介護予防活動に参加できる住民主体の通いの場」と修正します。
2	28	p52 「ニューキャッスル会議共同声明実現事業」 これが市民にどんな恩恵があるのか。20年に1回新城に外国人を呼ぶお祭り騒ぎと、市長らが隔年で公費で海外旅行して何になるのか。他の自治体ではわざわざアライアンス事業のように派手なことをしなくても、姉妹都市提携などで効果を上げているところは多々ある。世界アライアンスと言いながら、中国韓国にすら加盟都市はなく、新城はオリンピックのホストタウンにもなれなかったではないか。名前が似ているというだけの無意味な集まりに税金を使うのはやめてもらいたい。	しんしろ創生の推進に取り組む上での参考にさせていただきます。
2	29	p55 「温暖化対策推進事業」 空気を運ぶために排気ガスをまき散らす高速バス事業をやめる。くだらない会議、パフォーマンスのための会議をやめ、市職員の残業をなくす。無駄に大きい市庁舎を新築しない。まずこれらから始めたらどうか。	しんしろ創生の推進に取り組む上での参考にさせていただきます。

新城市人口ビジョン(案)及び第2期新城市まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)パブリックコメント実施結果

第2期新城市まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)に対するご意見

提出者 No	意見 No	意見	意見に対する考え方
2	30	<p>p56 「市民まちづくり集会参加者」</p> <p>参加者のうち、本当に自主的に参加したのは何人か。例年、協議会委員や区長などを動員しており、形だけの自治の典型となっているではないか。</p>	<p>しんしろ創生の推進に取り組む上での参考にさせていただきます。</p>
2	31	<p>p56 「地域マネージャー制度導入地域自治区数」</p> <p>誰がこの制度がほしいと言ったのか。市民の負担を増やすだけではないか。</p>	<p>しんしろ創生の推進に取り組む上での参考にさせていただきます。</p>
2	32	<p>p56 「地域自治区運営事業」</p> <p>この事業をやる意味があるのか。形骸化しているのに、見直す気もないではないか。市長の押し付けなので、何年経っても地域に根付かない。区長やPTA役員などを動員して数合わせをしている。何年も同じ人がやっている地域もある。地域自治協議会も、結局は市職員が事務局となってほとんど引き受けている。これのどこが地域自治なのか。</p>	<p>しんしろ創生の推進に取り組む上での参考にさせていただきます。</p>
2	33	<p>全体： ・これまでやってきた(しかし、うまくいかなかった)施策の焼き直しが目立つ。スローガンを変えただけで、中身は似たり寄ったりではないか。効果のなかった事業を続ける意味があるのか。どの事業も市民が納めた税金で賄っていることを自覚してもらいたい。 ・こうすれば達成できるという計画案がまさにお花畑。抽象的な話が多く、新城の将来に期待が持てない。 ・内容があちこちでダブっている。そのわりに、必要な情報が抜けている。無駄な文章が多く、冗長すぎる。もっと簡潔にまとめてもらいたい。</p>	<p>限られた資源や人材の中で様々なニーズに対応するため、引き続き事業成果の適切な評価に努め、マネジメントサイクルに基づく行政経営を進めてまいります。 また、社会状況の変化などに迅速かつ的確に対応するため、経営資源の集中など行政経営の効率化を進めてまいります。</p>